

第 1 0 章

～教育研究環境～

第10章 教育研究環境

10-1. キャンパス（校地、運動場、校舎等の施設設備）の整備について

10-1の事実の説明（現状）

【校地】

- ・多摩キャンパスの校地面積は30,538㎡であり、そのうち屋外運動場敷地は、8,631㎡である。
- ・平成19(2007)年4月に開設した湘南キャンパスの校地面積は14,376㎡である。

【校舎】

- ・多摩キャンパスの校舎総面積は17,053㎡である。入学式や卒業式も行っている講堂を兼ねている大教室棟とA、B、C、D棟及びサークル棟の各校舎から構成されている。また、品川インターシティにサテライトキャンパス(645㎡)を開設し、学部と大学院の授業を多数開講している他、ルネッサンスセンター等の社会人講座も展開している都心キャンパスになっている。

校舎の整備状況は、660人収容の大教室棟と20～250人収容の授業室と演習室、図書館、教員研究室、スポーツアリーナ、学食、コンビニ及びサークル棟で構成されている。

- ・平成19(2007)年4月に開設した湘南キャンパスの校舎総面積は7,171㎡である。

【運動場・体育施設】

- ・多摩キャンパスの屋外運動場は、「スポーツ」の授業や課外サークル活動などに利用している芝生のグラウンドとテニスコート2面を整備している。
- ・多摩キャンパスの体育施設は校舎内にテニス、バスケットボール、バレーボール、バドミントン等の球技に適している特殊ゴムの床材を採用した1,294㎡の屋内スポーツアリーナを設置して、「スポーツ」の授業や課外サークル活動のほかは学生に開放して自由にスポーツを楽しめるスペースとしている。780席の観客席も配置しており、学園祭等では多目的イベントホールとしても利用している。
- ・平成19(2007)年4月に開設した湘南キャンパスは885㎡の体育館とテニスコート2面を整備している。

【教員研究室】

- ・多摩キャンパスの教員研究室は、個室とブース形式の研究室で構成されており、教員同士が相互に行き来がし易く工夫されている。経営系や情報系など専門分野の異なる教員も積極的に交流しており、授業の改善や研究の推進などに貢献している。教員全員が利用できるパソコンやプリンタなどの情報機器が設置されているファカルティーコーナーや教員と学生のコミュニケーションが図れるラウンジも併設している。このように教員研究室は、教員や学生の利便性を考慮して設計されており、更に、教員や学生の便宜を図るために秘書室を設けて受付業務等を行っている。
- ・湘南キャンパスの教員研究室は、専任教員には個室、AEP(Academic English Program)の非常勤講師には2～3人で1室、計4室の研究室で構成し、教員同士が交流・教育目的を達成しやすいように設計、構成されている。平成20(2008)年5月には教育目的を推進するため、AEP以外の他の非常勤講師室を新設した。また、非常勤講師が利用できるパソコン・プリンタも設置し授業等に役立てられるようにした。

【校舎・運動場等施設設備の維持運営】

- ・校舎・運動場等の施設設備の維持、管理は総務センターが行っている。日常の施設設備管理等は専門業者へ委託しており、空調設備管理、電気設備管理、給排水設備管理、消防設備管理、エレ

ベータや火災報知機等の点検及び構内清掃管理は、学内に常駐体制をとって行っており、常時総務センターと連携して維持、管理に努めている。学内緑地管理も専門業者へ委託しており、総務センターと連携して維持、管理に努めている。

10-1の自己評価

【校地・校舎】

校地・校舎ともに大学設置基準を満たしており、維持、管理も適切に行われている。

【運動場・体育施設】

グラウンド、テニスコート及び屋内スポーツアリーナは、「スポーツ」の授業や課外サークル活動などに大いに利用されている。

10-1の改善・向上方策（将来計画）

【校舎・運動場等施設設備】

開学以来、学部の臨時定員増やカリキュラム改訂、大学院の設置及び学科増設などに伴って計画的に逐次増築及び整備を行い発展してきたが、今後も計画的に整備計画を進めて教育研究環境の充実向上を図る必要がある。

10-2. 教育研究環境の整備について

10-2の事実の説明（現状）

- ・多摩キャンパス及び平成19(2007)年に開設した湘南キャンパスとも、全ての校舎は新耐震基準を満たしている。
- ・日常の施設設備管理等は、業務を委託して学内に常駐している専門業者が空調設備、電気設備、消防設備等の状況を集中管理しており、異常が発生した時も迅速に対応できる体制を取っている。
- ・開学当初から身障者トイレや身障者対応エレベータを設置している。そして、車椅子の学生が始めて入学した時に、学内各所を点検し、スロープを設置して学内を車椅子で不自由がないように移動が出来るように改良して身障者の安全性を確保している。また、全ての階段に手すりを設置してより安全な施設に整備している。
- ・両キャンパスとも、学生ラウンジ「アゴラ」をはじめ、学生が自由に使えるラウンジを多く設けている。学生同士のみならず、教職員とのコミュニケーションの場として有効に使われている。
- ・多摩キャンパスでは、校舎最上階に座席数290席の学生食堂を配置しているが、この学生食堂を学生の意見も取り入れて、平成21(2009)年3月に全面的にリニューアルし、日中は学生食堂、夕方から夜間20時までは、学生ラウンジとしての機能も備えてオープンし、学生の利便性も高めて、学生満足度の向上を図る。湘南キャンパスでは、在籍学生1、2年生だけでおよそ260人だが、1Fに座席数およそ200席の学生食堂を配置している。昼食時は多少混雑するが、学生や教職員の憩いの場として提供している。
- ・多摩キャンパスでは、校舎2階にコンビニを開設して、お昼時には学食を補完し、教科書販売や文房具類販売などキャンパスアメニティを向上させている。また、サークル活動の便宜を図るために空調完備のサークル室8室のサークル棟を整備している。
- ・多摩キャンパスでは、テラス、アリーナ周辺のホール等にテーブルと椅子を100席設置し、食事や休憩の場所として整備している。また、女子学生のニーズにこたえて、トイレを改修してパウダールームを設置している。湘南キャンパスは、平成19(2007)年3月に完成した新校舎のトイレがすべて温水シャワートイレになっている。

10-2の自己評価

校舎は新耐震基準を満たしており、日常の施設設備管理等も学内に常駐している専門業者が集中管理しており、異常が発生した時も迅速に対応できる体制を取っていて、適切な施設設備の安全性が確保されている。又、身障者にも配慮された施設設備に整備されている。

学生食堂のリニューアルやサークル棟の設置及びコンビニの整備など教育研究活動を充実させるための整備については、学生の意見なども取り入れて学生生活の向上を図っている。

湘南キャンパスでは、完成年度になると600人以上の学生数になるため、学生食堂の規模・設備拡大を考える必要がある。

10-2の改善・向上方策（将来計画）

現状では施設設備の安全性は確保されているが、今後も適切に維持、管理ができるような維持管理体制を取るよう努める。

教育研究環境の向上や身障者の配慮などのために逐次整備しているが、今後も安全性の確保やニーズにこたえて整備計画を実行して教育研究環境の充実向上を図る。

10-3. メディア&インフォメーション・センターについて

10-3の事実の説明（現状）

メディア&インフォメーション・センター（以下MICと略）は、本学の教育・研究に必要な情報環境基盤を整備すると共に、その円滑な利用を促進し効果的な支援を行うことを目的としている。

MICは、図書館（ライブラリー・サービス・セクション：以下LSSと略）及びメディア・サービス・セクション（以下MSSと略）の2つのセクションにより構成し、MICの一元管理下のもとで緊密に連携することにより、ICT基盤整備と情報サービスを協働構築するなどシナジー効果による利用者サービスの向上を実現している。

また、教職員で構成されるMIC運営委員会を15回（多摩キャンパス小委員会7回、湘南キャンパス小委員会8回）開催し、MICに係る「運営・利用事項」、「情報化施策の将来計画事項」「教育・研究など情報環境の整備事項」等について審議を行い、運営に反映させている。

10-3の自己評価

(1) 多摩キャンパスー湘南キャンパス間の連携の強化

TV会議システムを利用し、両キャンパスの管理者及び監督者による定期ミーティングを実施した。また、メーリングリストやグループウェア、ファイルサーバを利用した職員間の情報共有化を図り、業務の効率化を実現している。

(2) 利用者満足度調査結果による利用者サービスへの反映及び実施

利用者満足度調査を平成20(2008)年12月～平成21(2009)年1月にかけて実施し、MICのホームページ上に公開している。この結果を基に、各種サービスの見直しによるサービスの向上、サービス時間の短縮を図っている。

(3) MIC施設のアメニティ見直しによる利用者満足度の向上

平成19(2007)年度までの利用者満足度調査結果より、図書館に対する要望として、グループ学習室の設置、リフレッシュラウンジの設置が多く寄せられ、8月に全面的なリフォームを実施した。

10-3の改善・向上策（将来計画）

(1) 多摩キャンパスー湘南キャンパス間の連携が不足していることは否めず、両学部による運営体制や規程の見直しを行い、シナジー効果をより発揮できるよう改善を図る。

(2) 本学の教育・研究成果を一元管理のもと公開する仕組みが不足している。従って、次年度内に学術情報機関リポジトリ構築の合意形成と制度設計を進め、平成22(2010)年度に一般公開を実施する。

10-4. 図書館(LSS)について

10-4の事実の説明(現状)

LSSは、本学の教育・研究活動に必要な図書・雑誌その他のメディア及び学術情報を収集、蓄積、保存管理して、本学の学生及び教職員の利用に供することを目的とする。また、他大学図書館との相互協力、学術情報の流通促進等の十全な実現を図ることを目的としている。

(1) 資料管理

- ・資料収集方針に基づき、選書委員による選書、図書館司書による選書、教員や学生によるリクエスト等により図書館資料を収集した。また、シラバスに掲載された資料から指定図書の収集を行い、学生への学習環境を整備している。
- ・狭隘化対策のため、開架図書の一部を閉架図書に移設し、重複資料等の除籍処理、雑誌・新聞類の電子ジャーナルやデータベースへの転換を進めた。合わせて、利便性の向上と図書費等の削減を行った。
- ・国立情報学研究所(通称NII)が運営している図書および雑誌の総合目録データベース(NACISIS-CAT)構築事業に参加し、本学図書館での図書および雑誌受入データを所在データとして提供している。

各種資料の所蔵状況は以下の通りである。

① 表10-4-1 受入図書

	和書	洋書	合計
多摩キャンパス	771	74	845
湘南キャンパス	1,084	1,259	2,343
合計	1,855	1,333	3,188

② 表10-4-2 受入雑誌

	和雑誌	洋雑誌	合計
多摩キャンパス	129	56	185
湘南キャンパス	24	23	47
合計	153	79	232

③ 表10-4-3 受入視聴覚資料

	ビデオ	DVD	CD	カセットテープ	マイクロ	CD-ROM	スライド	合計
多摩	0	61	0	0	0	3	0	64
湘南	2	8	5	0	0	0	0	15
合計	2	69	5	0	0	3	0	79

④ 表10-4-4 平成20(2008)年度末図書所蔵状況

	和書	洋書	合計
多摩キャンパス	56,431	11,126	67,557
湘南キャンパス	14,140	5,660	19,800
合計	70,571	16,786	87,357

⑤ 表 10-4-5 平成 20(2008)年度末雑誌所蔵状況

	和雑誌	洋雑誌	合計
多摩キャンパス	324	101	425
湘南キャンパス	20	23	43
合計	344	124	468

⑥ 表 10-4-6 平成 20(2008)年度末視聴覚資料所蔵状況

	ビデオ	DVD	CD	カセット テープ	マイクロ	CD-ROM	スライド	合計
多摩	702	544	478	293	517	105	47	2,686
湘南	19	8	48	0	0	0	0	75
合計	721	552	526	293	517	105	47	2,761

⑦ 表 10-4-7 平成 20(2008)年度末分類別蔵書構成状況

分類	多摩キャンパス	湘南キャンパス
0類 総記(007を除く)	4.4%	2.3%
007 情報科学	4.6%	1.6%
1類 哲学・宗教	4.3%	11.8%
2類 歴史	7.2%	16.6%
3類 社会科学 (330,340を除く)	18.1%	20.8%
330 経済・経営	31.5%	4.2%
340 財政	0.7%	0.1%
4類 自然科学	4.4%	4.7%
5類 技術・工学	6.6%	2.7%
6類 産業	8.4%	1.9%
7類 芸術	2.5%	6.9%
8類 言語	4.3%	8.5%
9類 文学	3.0%	17.9%

(3) 利用者サービス

- ・アメニティ改善による利用者のためのスペース作りを目指し、ガイダンスやグループ学習などが行えるセミナールームと、利用者の情報交換支援スペースとしてリフレッシュラウンジ（カフェコーナー）を設置した。
- ・相互貸借システム(NACSIS-ILL)に参加することにより、利用者が要求する資料入手の期間短縮を図っている。
- ・学生の図書館利用を推進するため、フェアコーナーの設置、貸出冊数無制限キャンペーンなどを企画、実施した。
- ・図書館システムの機能を利用した、蔵書検索(OPAC)の提供、OPACと電子ジャーナルの連携、SDIなどの電子図書館的サービスを提供している。携帯電話にも対応しており、蔵書検索や利用照会、資料予約サービスも提供している。

① 表10-4-8 開館状況

	多摩キャンパス	湘南キャンパス
開館時間	月曜日～土曜日 9:00～21:00	月曜日～金曜日 9:00～18:00
休館日	日曜日、国民の祝日、年末年始、開校記念日、メモリアルデー、入学試験日 他	土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始、開校記念日、メモリアルデー、入学試験日 他
年間開館日数	229 日	220 日

② 表 10-4-9 座席数

項 目	多摩	湘南
閲覧席（個人席 30 席含）	116	60
視聴覚資料閲覧席	18	2
ブラウジングコーナー	18	—
リフレッシュラウンジ	10	—
セミナールーム	15	—
レファレンス・コーナー	8	—
パソコン利用席	12	—
合 計	197	62

③ 表 10-4-10 サービス対象者数

項 目	多摩	湘南
学部生	1,420	379
大学院生	124	0
教職員	211	55
学外者	12	2
合 計	2,284	436

④ 表 10-4-11 入館者数

項 目	多摩	湘南
学部生	48,167	4,222
大学院生		
教職員	1,336	2,748
学外者	98	2
合 計	49,601	6,972

⑤ 表 10-4-12 館外貸出冊数

項 目	多摩	湘南
学部生	7,034	1,145
大学院生	1,191	—
教職員	1,696	831
学外者	86	3
合 計	10,007	1,979

⑥ 表 10-4-13 館内施設利用件数

項 目	多摩	湘南
個人学習ブース	5,027	—
視聴覚ブース	1,756	—
セミナールーム	116	—
合 計	6,899	—

⑦ 表 10-4-14 ILL（相互協力）件数

項 目	多摩	湘南
現物貸借受付	7	4
現物貸借依頼	2	5
文献複写受付	66	2
文献複写依頼	164	15
合 計	239	26

⑧ 表 10-4-15 レファレンスサービス件数

項 目	多摩	湘南
所在調査	167	—
事項調査	5	—
利用指導	298	—
合 計	470	400

⑨ 表 10-4-16 契約データベースタイトル

タイトル
日経テレコン 21
朝日新聞オンライン記事データベース「聞蔵」
eol ESPer
CiNii NII 論文情報ナビゲータ
ProQuest - Academic Research Library
EBSCO host-Research Database Academic Search Elite Business Source Premier ebrary (湘南キャンパスのみ)

10-4の自己評価

(1) 多摩キャンパス-湘南キャンパス間の業務連携の強化

他キャンパス所蔵資料の利用希望に対し、図書館システムを活用した移送対応の仕組みを構築した。

(2) 多摩キャンパスにおける地域住民向けサービスの実施

地域住民向けサービスとして、毎週土曜日（一部期間を除く）を一般利用登録者に開放した。（10月より実施、利用登録者10名、延べ入館者数35人）

(3) 多摩キャンパスにおける利用者の快適性向上にむけた環境整備

館内リフォームとして、壁紙や天井を張り替え、清潔で明るい空間を実現した。また利用者の休憩スペースとして館内にリフレッシュラウンジを設置し、多くの学生が利用している。

(4) 多摩キャンパスにおける他センターとの協力体制の推進

オープンキャンパスにおける館内ツアーフォローや、特別講座などの講義関連資料の収集整備を行い利用に供した。

(5) 湘南キャンパスにおける講義支援の強化

図書館資料を使いながら授業を図書館で行いたいという教員の希望に基づき、内容、使用する資料の選択、事前準備を教員と相談しながら行った。

(6) 湘南キャンパスにおける利用者への積極的なアプローチの展開

教員（有志）に協力を要請し、紀伊国屋書店での店頭選書を2回実施した。また、年末に学生対象に図書購入リクエストを大々的に呼びかけ、和・洋書あわせて約130冊を購入した。

(7) 湘南キャンパスにおける図書館の基幹的機能の確立・安定化

4月からの契約職員（平成21(2009)年度より専任へ移行）の採用により、洋書データの自館での作成・登録等を開始した。これにより新着本の書架配架までに要する時間が大幅に短縮された。

(8) 湘南キャンパスにおけるホームページ（コンテンツ）の適切な管理・充実化

コース別コースリザーブリストをホームページに掲載した。夏季・冬季休暇中の開館スケジュールも同サイトで確認できるよう準備した。

(9) その他の活動

①私立大学図書館協会を始めとする各種研修会に参加し、情報収集や他大学・機関との交流を深めた。私立大学図書館協会が主催する研究分科会に1名を参加させ、本学図書館に貢献し得る研究活動を行った。東京西地区大学図書館協議会（計42大学・44館の大学図書館で構成し、図書館全般における相互協力・情報交換等を目的とした組織）に積極的に参加し、会計監査担当校としての責務も果たした。

②私立大学教育研究高度化推進特別補助「教育研究情報利用経費」を申請し、図書館経費を節減した。

③公私立大学図書館コンソーシアム(PULC)参加し、商用データベースの経費削減を図った。

10-4の改善・向上方策（将来計画）

(1) 多摩キャンパスで行っている地域住民向けサービスとして、一般開放を推進しているが、登録者数が増加しないため、一般開放期間の拡大や対象地域の拡大を図り合わせて広報も拡大する。また、夏季休業期間の開放延長を実施する。

(2) 図書の利用促進のため、学長著書コーナーの設置等、新コーナーを設置する。

(3) 図書館の利用方法や商用データベースの利用方法等、ガイドンスの実施回数を増やす。

(4) 図書館ホームページの全面的な見直しを図り、ユーザビリティを向上したホームページにリニューアルする。

(5) FD・SD支援のため、関係資料の収集・提供を行う。また、自館で資料を作成し、教職員らに配布を行う。

10-5. メディア・サービス・セクション(MSS)

10-5の事実の説明（現状）

MSSは、本学の教育・研究活動に必要な情報システム、情報機器、情報ネットワーク等の情報環境の基盤を整備・管理し、また先端的な情報処理教育に必要なデジタルコンテンツ等の作成によって、本学の学生及び教職員が、高度な情報収集、活用、保管を簡便に実現できるよう支援することを目指している。

(1) ICT資源管理

- ① 教育支援としてコンピュータ教室および自習室の運営
- ② FD支援としてFD用パソコンの運用支援
- ③ 学内ネットワークシステムの安定運用
- ④ 無線LAN環境の安定運用
- ⑤ T-NEXT等のアプリケーションサーバの安定運用
- ⑥ VPN接続サービスの提供及び安定運用
- ⑦ Gmail（Webメールシステム）の安定運用
- ⑧ 各種サーバ群の安定運用
- ⑨ ネットワーク・セキュリティ対策(IPS、SPAM Firewall等)の実施
- ⑩ 各種e-Learning環境の整備支援(NetAcademy2等)
- ⑪ サポート対象パソコン数

表10-5-1 ICT資源管理

	施設・教室等名	PC 台数
多	241、242 教室	82
多	ファカルティディベロップメントコーナー	4
多	243A、234B、244A、244B、245A、245B 教室	37
多	441A、441B、442、443 教室	4
多	図書館	15
湘	図書館	2
湘	情報処理教室 1、情報処理教室 2	84
湘	E201、E202、E203、E204、E205、E206、E207、E208、E209 教室	9
湘	ラウンジ	2
湘	非常勤講師控え室	2
多	学生貸与パソコン	1,473
合 計		1,714

多…多摩キャンパス 湘…湘南キャンパス

⑫ 表10-5-2 無線LAN基地数

多摩キャンパス	湘南キャンパス	合計
75	29	104

(2) 利用者サービス活動

① 表10-5-3 サポート内容別の件数（多摩キャンパス）

	パスワード再発行	貸与パソコン					備品貸出	申請	その他	合計
		操作	不具合	修理	インストール	遺失				
4月	31	105	37	41	134	7	16	8	44	423
5月	33	66	36	48	48	30	31	4	22	318
6月	27	86	62	40	30	22	24	4	26	321
7月	18	69	45	49	20	19	22	7	36	285
8月	2	13	11	8	0	2	1	4	5	46
9月	26	60	20	28	6	2	4	2	16	164
10月	39	94	59	52	21	8	34	12	18	337
11月	15	47	35	53	49	16	21	5	24	265
12月	1	39	29	32	29	8	27	3	26	194
1月	3	64	28	22	12	13	47	1	277	467
2月	0	5	8	12	4	0	1	0	14	44
3月	3	2	10	8	1	0	1	1	18	44
合計	198	650	380	393	354	127	229	51	526	2,908

② パソコン教室開放（多摩キャンパス）

表10-5-4 パソコン教室開放（多摩キャンパス）

・通常開放

平成20年度		開放日数	利用人数 合計	1日当り 平均人数	30分当り 平均人数
4月	パソコン教室	12	266	22.2	2.2
5月	パソコン教室	20	576	28.8	2.9
6月	パソコン教室	21	765	36.4	3.6
7月	パソコン教室	22	1128	51.3	5.1
9月	パソコン教室	7	32	4.6	0.5
10月	パソコン教室	21	747	35.6	3.6
11月	パソコン教室	17	745	43.8	4.4
12月	パソコン教室	16	745	46.6	4.7
1月	パソコン教室	11	1038	94.4	9.4
合計	パソコン教室	147	6,042	—	—
平均	パソコン教室	—	671.3	40.4	4.0

・長期休業中（多摩キャンパス）

平成 20 年度		開放日数	利用人数 合計	1日当り 平均人数	30分当り 平均人数
4月	パソコン教室	1	64	64.0	6.4
8月	パソコン教室	6	94	15.7	1.6
9月	パソコン教室	4	43	10.8	1.1
1月	パソコン教室	1	64	64.0	6.4
2月	パソコン教室	7	112	16.0	1.6
3月	パソコン教室	6	5	0.8	0.1
合計	パソコン教室	25	382	—	—
平均	パソコン教室	—	63.7	28.6	2.9

③ サポート内容別の件数（湘南キャンパス）

表10-5-5 サポート内容別の件数（湘南キャンパス）

	パスワード再発行	操作	不具合	インストール	備品貸出	申請	その他	合計
4月	28	23	0	22	0	0	6	79
5月	1	4	3	14	0	0	0	22
6月	3	2	2	5	6	0	3	21
7月	4	6	9	7	12	0	4	42
8月	0	2	6	0	4	0	1	13
9月	11	2	7	2	8	0	0	30
10月	27	5	13	3	5	0	1	54
11月	1	1	14	2	14	0	6	38
12月	3	3	7	3	12	0	7	35
1月	0	4	4	3	3	0	13	27
2月	1	0	3	2	15	0	2	23
3月	0	1	2	2	7	0	5	17
合計	79	53	70	65	86	0	48	401

10-5の自己評価

(1) サポート窓口のサービス向上

貸与パソコンの質問・トラブルについては、可能な限り利用者への個別対応を実施し、データの復旧に努めた。また、初期化システムの再構築により、初期化にかかる時間の短縮を図った。

(2) 学習環境の改善・保守（パソコン教室の改善）

授業内容に合わせ、シンクライアント（242教室、W201教室、W202教室）のイメージ作成を行い、迅速な授業変更への対応を行った。241教室パソコンのOS復元ソフト再導入し、パソコンの安定稼働を実施した。

(3) 各種サービスの安定運用と管理コストの削減

各種サービスにおける運用・管理マニュアル作成し、情報共有化→サービスの実行→改善のサイクルを回す体制の整備を実施した。また、サーバの仮想化を進め、維持経費の削減に努めた。

(4) Webサービス（メール・ポータルシステム）の拡充

メールシステムをMicrosoft Exchange Serverより、Google社のGmailに移行した

（9月2日開始）これにより、メールボックス容量の増加、ダウンタイムの軽減、サーバ管理コスト削減を実現した。また、Google Appsの利用を可能とするページをポータルサイトとすることで、各種アプリケーションの授業利用ができる環境を整備した。湘南キャンパスでは、教育目的のWeb作成スペースが無かったことから、Webサーバを構築し、講義用のHPスペースを提供した。

(5) ノートパソコン貸与及びサポート向上（多摩キャンパス対象）

修理の迅速化を図るため、作業工程の見直しや、サポートに使用するハードウェア、ソフトウェアの見直しを図ることにより学生の待ち時間を減らし、利用者満足度の向上を図った。

(6) 教員へのIT支援の推進（教材電子化等の補助）

多摩キャンパスでは、授業の撮影支援や、DVD等へのメディア変換支援等を行った。また、授業コンテンツを編集し、インターネット上に公開できるよう教材の電子化支援を行った。

(7) 利用者への広報拡大（Webサービス・広報の推進）

事務局ホームページ及びMICホームページの作成・管理・提供を行った。また、印刷物と電子版で、MICの広報誌「MIC News Letter」31～34号を発行した。他に、「MICガイドブック」の作成「多摩大学貸与パソコン取扱説明書」の作成「各種ポスターの作成」「学内プラズマ掲出用教育コンテンツの作成」などを行った。

10-5の改善・向上方策（将来計画）

- (1) 貸与パソコンの破損・盗難対策を実施しているが、効果が上がらないため、さらなる広報の拡大を実施する。また、破損・盗難対策用にサポート内容の見直しを行う。
- (2) 授業や自学自習のためのパソコン利用率が一定以上にならない状況にあるため、カリキュラムとの連動率を上げる方策（ゼミ担当教員へGoogle Appsの提案など）を実施する。
- (3) ネットワーク機器等の老朽化が進んでおり、傷害発生時の復旧時間が授業に影響することが予想される。従って、ネットワーク構成の見直しによる該当機器のリプレースを行い、合わせて、運用経費の削減、Co2の排出削減を図る。
- (4) 湘南キャンパスにおいては、学生に確実な情報スキルを習得させるため、1人1台のパソコンの貸与を目指す。
- (5) 授業における教員の負担を軽減するために、教育手法の合理化（E-Learningの導入など）の提案を行う。

〔第10章まとめ〕

校地・校舎ともに大学設置基準を満たしており、維持、管理も適切に行われており、健全な教育研究環境になっている。

快適な教育研究環境を確保するために、ニーズにこたえて逐次増設や改修をして整備しており、常に良好な教育研究環境の整備に努めている。

図書館並びに情報サービス施設は、本学の建学理念に沿った最新の設備が整備され、小規模大学として誇るべき内容となっていて、教育研究に有効活用されている。また、教育研究目的を達成するためのキャンパス整備を年々行って改善されているが、常に快適な教育研究環境を確保するために、教育研究計画やニーズにもこたえながら、施設設備の整備に努める。

年々老朽化してくる施設設備の維持、管理を適切に行うとともに、空調設備、電気設備及び消防設備などのリニューアル整備を計画的に行う。

図書館並びに情報サービス施設は、MIC の一元管理の下、両キャンパス及び両セッション間で相乗効果を発揮する運営体制の構築を推進する。また、情報を扱う機関として、常に最新の情報技術を取り入れ、継続的な教育研究支援サービスの向上に供する。